

名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会 第六回会議

質問・意見等とそれに対する回答

【報告事項について】

【資料1】

- 池の底の測量を通して、造園に関すること他発見事項があれば、今後報告を。池の揚水設備も造園時には最新の設備であったため、見えないところにあるポンプ（残っていれば）や土管・配管を含めて近代化遺産のシステムの一環として記録、交換する場合には現物の一部でも保存を。[金出委員]

◆回答→

これまでの3次元測量等は、実施設計図面のための測量と現状の記録保存の2つを主な目的として実施してきました。現状、新たな発見にいたる調査や分析には至っておりませんが、数年後必要になる可能性の高い、保存活用計画の改定の際などに有効な資料として情報整理しておきたいと考えております。また、今後実施する水質改善工事の中で近代のシステムの一部が露見する可能性もありますので、その際は十分な記録を取っていきます。池の丸い柵の中にあるポンプは、老朽化のため機能不全になる可能性が高いことから更新（当初と同メーカーのものに）しますが、撤去したものは適切に保存いたします。